

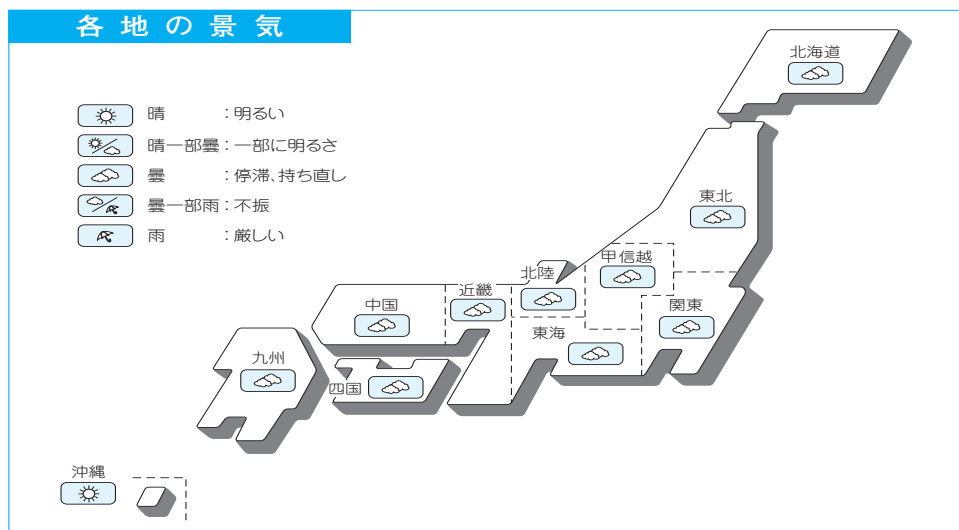
全国地方銀行協会

地方経済天気図

(平成26年2月発表分) から

緩やかに回復している

1. 各地の景況感



- 北海道**…百貨店販売、スーパー販売、乗用車販売いずれも好調。観光が外国人客の入込が増え、回復。
- 東北、関東、東海**…米国向けの輸送機械の輸出、および鉄鋼、輸送機械の生産が増加。
- 甲信越**…住宅建築が増加。大型小売店販売も高額商品、家電品が売れ行き好調。
- 北陸**…公共工事は北陸新幹線関連工事に伴い持ち直し。生産は医薬品が高水準を持続。
- 近畿**…設備投資は、製造業、非製造業ともに投資計画を積み増す動き。
- 中国**…鉄鋼、自動車、化学製品の輸出、および自動車、石油製品の生産が増加。
- 四国**…金属製品、プラスチック製品の生産水準が上昇。大型小売店販売も食料品、高額商品が売れ行き好調。
- 九州**…乗用車販売、および自動車、電気機械の輸出が増加。
- 沖縄**…観光が中国、韓国からの外国人客の入込が増え、回復。

2. 近県「現在の景況」

〔宮城県〕

全体として景況は、震災復旧需要などに伴い経済活動は総じて高水準で推移しており、緩やかに回復している。

〔山形県〕

持ち直しの動きが続いている。

〔新潟県〕

緩やかに持ち直し。

〔栃木県〕

持ち直している。

〔茨城県〕

緩やかに持ち直しつつある。

3. トピックス（東北・近県）

「青森県」

震災で落ち込んだ青森県への外国人客が回復しており、3年ぶりに年間延べ宿泊者数が5万人台に届く可能性が出てきており、県のまとめによると、2013年1月～9月の宿泊者数は前年同期比31%増の3万5,850人。

「岩手県」

岩手経済研究所の「岩手県内設備投資計画調査」（10月実施、回答数179）によると2013年度下期の県内企業の設備投資計画額（工事ベース）は前年同期比1.0%減とほぼ前年並み。前年度は機械・装置の更新や、沿岸地域で店舗・工場の新築が活発であったものの、今年度も引き続き比較的堅調な投資が続くとみられる。産業別にみると、製造業は前年同期比2.9%減少。一般機械はアジア向けの需要が増加していることから、工場の増設などで二桁の増加率。その他製造業（紙製品等）も省力化設備の導入などで大幅に増加。

「秋田県」

1月24日、ローソンは羽後町に農業生産法人「ローソンファーム秋田」を運営主体となる地元農家と共同出資で設立したと発表。同町内の小学校跡地を利用して施設面積656㎡の植物工場の建設を5月より開始し、多段式のベビーリーフの栽培プラントを設置、9月下旬を目途に出荷開始。同社の農業生産法人は全国で12箇所目で、植物工場は初めて。

「宮城県」

宮城県は、平成25年の仙台空港利用客が307万

3,261人（前年比15.3%増）となり、5年ぶりに300万人を超えたことを発表した。利用客数のうち国内線は290万1,783人（同16.6%増）、国際線は17万1,478人（同3.7%減）となっている。また、空港利用客数の増加に伴い、仙台空港アクセス鉄道の平成25年利用客は308万8,000人（同20.5%増）となり、平成19年開業以来初めて300万人を超えた。

「山形県」

フジドリームエアラインズが「山形-名古屋」便の3月開設を発表。山形空港への新規航空会社の参入は16年ぶり。同時期に日本航空により「山形-東京」便も増便。

「新潟県」

新潟県は、2013年人口移動調査（2012年10月～2013年9月）の結果を発表。2013年10月1日現在の新潟県の推計人口は233万797人。死亡数が出生数を上回る「自然減」は1万1,332人で15年連続。減少幅は7年連続で拡大し、過去最高。少子化に加え、死亡数が10年前より5,000人ほど多くなるなど、歯止めがかかっていない。

「茨城県」

茨城県の2012年の農業産出額は前年比184億円（4.5%）増の4,281億円。農業産出額上位5都道府県は、1位：北海道1兆536億円、2位：茨城県4,281億円、3位：千葉県4,153億円、4位：鹿児島県4,054億円、5位：熊本県3,245億円。茨城県は2008年以降5年連続で全国2位を維持。

（出所：全国地方銀行協会地方経済天気図2月分より抜粋）

（担当：斎藤）